

「家は高い買い物だからこそ、妥協せず、信頼できる人とつくり上げていくべきですね」と、今回の出合いを喜ぶ奥さん。



何であんなに身構えていたのか、あとで考えると笑い話のようです。

札幌市清田区・Nさんご家族
家族構成／夫婦40代、子ども2人、両親70代・60代

第1回

「そう・・・」は本当か？

建てたい家のイメージはあるけれど、それをカタチにしてくれる人と出会えず、悶々とした日々が流れてゆく。といって「建築家」は敷居が高そうだし、気軽に声をかけられる存在のようにも思えない…。こうしたジレンマを解決してくれるのが、建築家と建主の間に立ち、出合いをコーディネートしてくれる「建築家ブラザー・リビング（リブ）」です。実際にリブを通して、建築家と共に家づくりを楽しんだNさんにお話をうかがいました。

「建築家」という新たな選択肢を得て喜ぶも、不安が…

古いアパートを2世帯住宅に建て替えようと、住宅展示場めぐりからはじめたNさんご一家。何社かと接点を持った末、大手ハウスメーカーと工務店の2社に絞りましたが、住まいへの要望とそれに対する先方からの答えが今ひとつかみ合わないなど、どちらとも、意思の疎通が図れているという実感が得られなかつたといいます。そんな状況に奥さんは、「どこかで妥協しないと、家づくりはできないのかも」と半ばあきらめ気味に。それでもご主人は「きつと道はあるはずだ」。あきらめと前向きな気持ちで交錯する、まさにそのとき、建主と建築家の間をとりもち、その後もいろいろフォローしてくれる「建築家ブラザー・リブ」の新聞記事を見つけました。

「そうか、この手があったか！」。建築家という選択肢に気づき喜ぶ反面、「建築家に家づくりを頼むとは、どういうことだろう」と、漠然とした不安が生まれたのも事実です。

「下見」のつもりで電話を一本入れ、ご主人ひとり、リブへ。入り口がガラス張り、登

録建築家の作品を展示したり、家づくりに関する資料をディスプレイしているリブは、一見するとショップ。訪れる人の中には、ふらつと立ち寄っていく人も多いといいます。

リブの主宰者である、建築プロデューサーの飯田寛充さんから、登録建築家のこと、その中から相性の良さそうな人を何人か紹介してくれること、断ることも含めて直接言いくいことはリブが代わって建築家に話してくれることなど、システムの説明を受け、安心感を得たご主人。家への思いやこれまで辿ってきた家づくりの過程などもひととおり飯田さんに話し、次回は家族と共に詳しい内容を話し合うことになりました。

直感、フィーリング。相性を大切に、この人！と決めました

Nさんご家族の話聞いて、リブが、この人たちならスムーズにいきそうだと判断して紹介したのは、3人の建築家。

「それぞれの方と日を変えてお会いすることになったのですが、やっぱり出かける前は緊張しました。ピントのはずれたことを言わないようにしなきゃと、

ドキドキしていました。でも会ってみると、みなさん、とても気さくで、何であんなに構えていたんだろうと、あとで笑ってしまいました」と奥さん。

3人の建築家たちと話したのは、今までの生き方やライフスタイルとして望んでいること。「健康にこだわりたい」「親世帯と子世帯つかず離れず、それでいて互いの気配が感じられるようにしたい」など、家づくりへの思いを次々ぶつけてみました。そうして言葉を交わすうちに、「建築家は敷居が高い」という思い込みも消えていたとか。

リブでは「1度ではなく、何度でも会って相性を確かめてください」とアドバイスしています。回を重ねて相手のことを知り、その上で「この人」と決めることが、家づくり成功の必要なプロセスだと考えるからです。

Nさんご家族が「この人」と決めたのは、遠藤謙一良さん。

「遠藤さんの何が良かったのかというと、それは直感みたいなもの。フィーリングですね。みなさんそれぞれにいいものをお持ちだと思いますが、わが家にとってピタッとはまったのが遠藤さんだったんです」。

イベント開催のお知らせ

「家を形作る主役達 ~ 窓、扉、壁、屋根・・・」
建築家は彼らにどう演じさせるのか

何気なく使っているこれらの住宅要素も建築家によって華麗に姿を変えていく。その多様な種類、表情、機能をどう使いこなしていくのか。家造りに欠かせない要素についての建築家の興味深い視点にご注目下さい。

日時: 4月3日(日) 13:30~
場所: 建築家プラザ リブ内
参加: 無料でご参加頂けます。(定員40名様)
※家造り相談会も開催致します
(建築家との家造りについてご相談を承ります)
※ご不明な点はお電話、メール等でお問い合わせ下さい。

▼敷居を低くした立役者



飯田 宣充
建築家プラザ・リブ主宰
建築プロデューサー

▼今回の敷居が高くない建築家

遠藤 謙一良
有限会社 遠藤建築アトリエ
「商業施設デザイン(北海道)優秀賞」
「きらりと光る北の建築賞」受賞
北海道大学非常勤講師
北海道造形デザイン専門学校非常勤講師

「建築家って敷居が高

建築家プラザ・リブの仕事とは?

今回のNさんのように、建築家に対して「なんとなく敷居が高そう」「気難しい人が出てくるんじゃないか...」とさまざまな不安を抱えこの足を踏んでいる方も、建築家の間に入り、悩みをひとつひとつ解決していくお手伝いをする「建築家プラザ・リブ」の役割です。

建築家を皆さんにご紹介する場です

施主 ← リブ → 建築家

リブのご利用はすべて無料です。

相談

希望の建築家がいなくても、漠然としたプランしか思い浮かばなくてもOK。まずは相談してみましょう。

Livシステムの説明
カウンセリング

各建築家の事例等を見ながら、夢や希望をお話しいただき、最も適した建築家をご提案いたします。建築家に直接聞きづらいことも、リブを介せば不安はありません。

建築家絞り込み

住まいのある程度の希望が出たところで、建築家を絞り込みます。

建築家と相談

プラン

建築家の提案

プランニングの開始です。絞った建築家からより具体的な提案が出されます。納得がいくまでとことん話し合うことができます。もちろん建築家に直接聞きづらいこともリブに相談できます。リブでは「相談・修正・立ち止まり」を推奨しています。納得できるまで話し合います。

ひとりの建築家に決定

いよいよ建築家を決定・契約します。設計図面を作成します。

お引き渡しまで常時
バックアップします

工事・施工が始まって、不安や悩みがあればいつでもリブがサポートします。



札幌市中央区北4条西20丁目1-20
tel.011-612-8110
http://www.plaza-liv.net/



プライバシーを保護しながらも、自然光がたっぷり得られるのは中庭のおかげ。話し合いの中から、たくさん的大成功が生まれた。



子育てのLDK。中庭を挟んで粗世帯がある。「お互い気持ちがいい」ちょうど良い距離感。

「健康促進住宅にしたい」というご主人の希望で、素材はどれも身体に優しいもの。階段もゆったり緩やかにつくられている。



建築家に頼むって、スコイことだとはい、今はもう思いません

Nさんご家族の場合は、その後、家が出来上がるまでの間もスムーズに建築家とコミュニケーションが取れたため、リブに言いにくいことを代弁してもらった必要はありませんでした。し

かし、方が一にも何かが生じたときには、リブの飯田さんに相談すれば道が開けるに違いない、という安心感が背中を押してくれていたことも否定できません。「事前にFAXを送り、今回はこの内容について話し合いたい、この部材について調べてほしいと細かくやりとりしました

が、それも楽しい思い出です」。共に考え完成させた、愛着に満ちたわが家。「建築家に頼んだなんてスコイね」という友人たちの言葉も、今は「何で？」と思うくらい建築家が身近な存在に。「これも、リブという存在があったからこそですね」と奥さんは笑顔で話してくれました。